

授業改善推進プロジェクトの取り組みについて

【令和7年度の取り組み】

① 教員間の相互授業参観Ⅰ

- ・実施期間 6月2日（月）～6日（金）
- ・実施内容 授業改善のために、「ICT活用」、「個別最適な学び」、「探究的な学び」をテーマとした授業の実践と教員相互の参観を行った。
- ・実施後 教科内で参観した際の「参考となる点や取り入れたい点」、「課題となる点」、「授業改善のためのこれからの取り組み」について各教科で協議を行った。また、協議の結果を職員全体で共有した。

② 他校視察

- ・実施時期 7月15日（火）
- ・実施内容 本校教員4名が県立茨城東高等学校を視察した。学校規模や卒業後の進路等、本校との共通点があり、また、本校と同様に情報Ⅰ遠隔授業の実施校であったため、当該校の授業を視察した。

③ 授業改善実践

- ・実施時期 9月～10月
- ・実施内容 「ICT機器の活用」をベースに、相互授業参観Ⅰにおける協議結果を踏まえて、各自で授業改善の実践を行った。

④ 学校訪問

- ・実施時期 10月17日（金）
- ・実施内容 授業改善推進プロジェクトの一環として、教育目標を達成するための授業改善を組織的に行うことができるよう、指導主事による学校訪問が行われた。授業改善プロジェクトチームによる国語科の授業参観と授業改善のための研究協議を行い、高校教育課指導主事から学校の授業改善に向けた取組や教科の指導等に対する指導・助言をいただいた。
- ・成果 参考となる点、自身の教科で取り入れたい点など、様々な視点からチーム内で意見を交わし、また、指導主事からの助言により、授業改善のためのヒントを得た。

⑤ 教員間の相互授業参観Ⅱ

- ・実施期間 10月20日（月）～24日（金）
- ・実施内容 授業改善のために、「ICT活用」、「個別最適な学び」、「探究的な学び」をテーマとした授業の実践と教員相互の参観を行った。

⑥ 学校運営協議会委員（学校外委員）による授業参観

- ・実施時期 11月5日（水）
- ・実施内容 第2回学校運営協議会において、授業を参観していただいた。
- ・委員からの感想・講評
 - ・若手教員の電子黒板活用が評価できる。
 - ・生徒にとってわかりやすい言葉を使い思考を引き出す工夫をしている。
 - ・生徒学習用端末の活用が進展している。
 - ・生徒を肯定し、プラスの雰囲気が進んでいる。
- ・実施後 委員からの助言・感想を職員全体で共有した。

⑦ 今年度の振り返りと次年度への課題

- ・実施時期 1月
- ・実施内容 各教科で今年度の授業改善の振り返りと次年度への課題を話し合い、まとめた。